

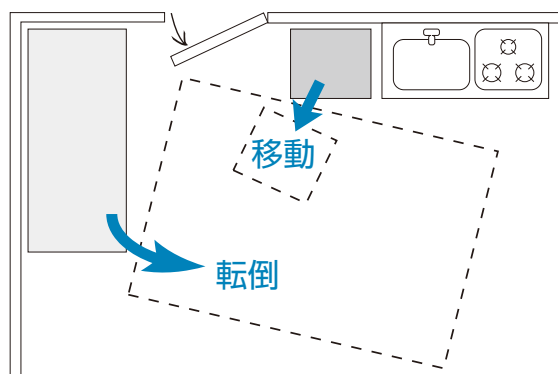
# 家具の転倒防止

問 吉備庁舎総務課

地震災害での負傷者の3～5割が、家具などの転倒によるものだと言われています。また、家具などの転倒により部屋に閉じ込められてしまった場合、その後に起こりうる火災や津波などから避難することが困難になります。

家具の固定は被害を抑えるためにとても重要な対策の一つです。各家庭でも、危険な家具の転倒防止対策を行いましょう。

## 置き場所・置き方を工夫する

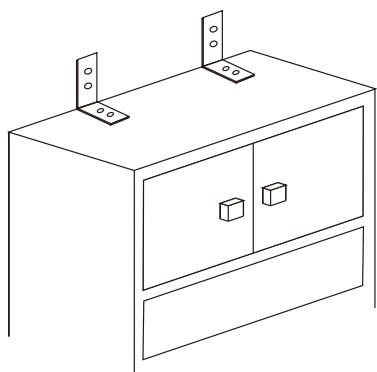


地震が起こると、家具・家電製品が移動・転倒します。左の図の配置では、避難通路をふさいでしまいます。

揺れによって家具などの移動・転倒があっても、避難通路をふさがない配置にしてください。

また、座る場所や寝る場所に家具などが転倒してこないよう、工夫しましょう。

## 適切な固定具で家具の転倒や家電製品の落下・移動を防ぐ



家具転倒防止対策の基本は、「L型金具」を使ったネジによる固定です。この場合、壁材(石こうボード)に取り付けるだけでは強度不足です。壁の中の下地材(間柱)に固定します。

賃貸住宅などでネジによる固定が困難な場合、「ポール式器具」と「ストッパー式器具」もしくは「マット式器具」を使って上下を固定します。

テレビや冷蔵庫などの家電製品は、機器にあった固定方法で対策を。こちらネジによる固定が基本ですが、困難なときには滑り止めやゲル状のマットなどを活用してください。

